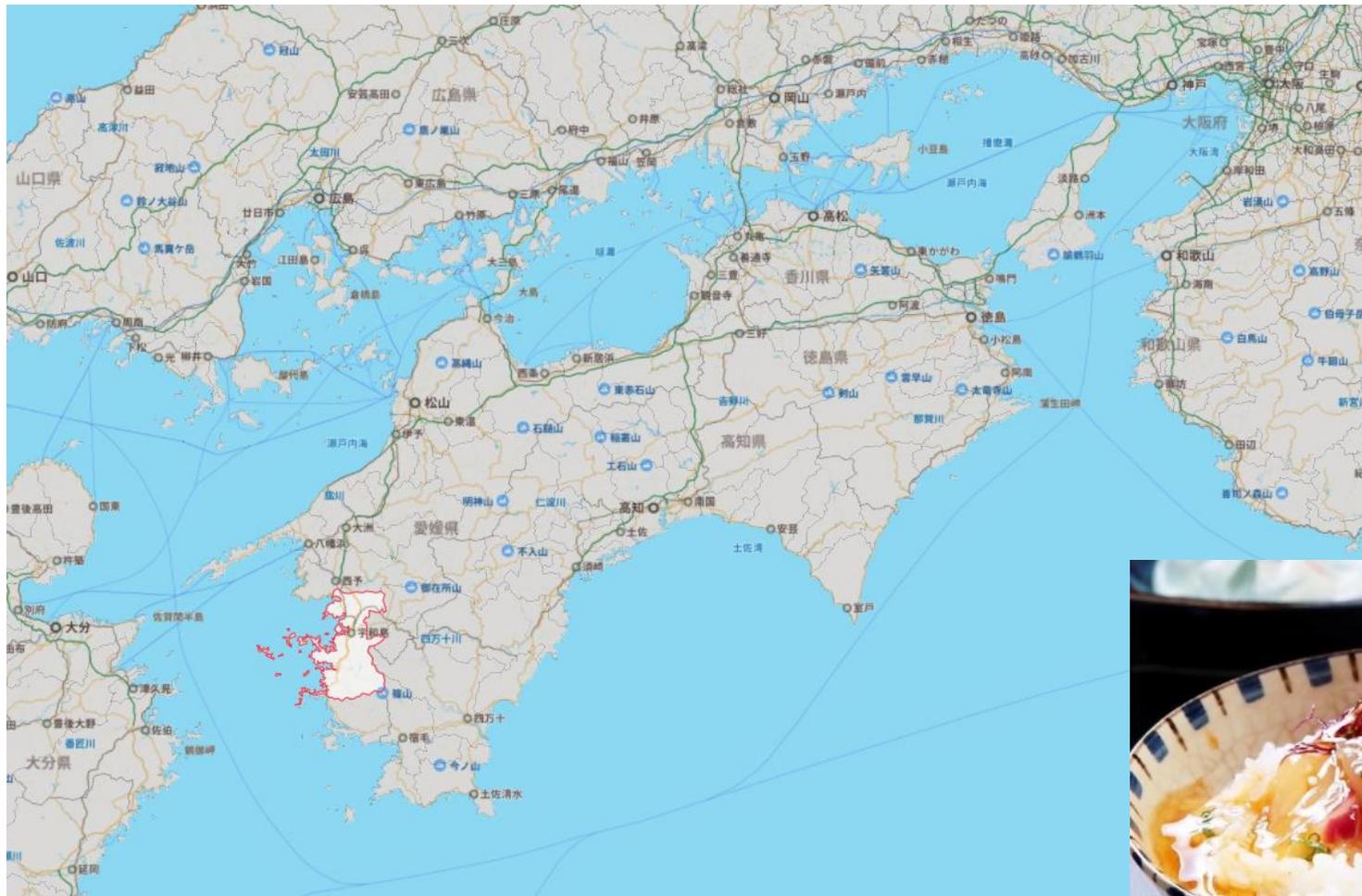


宇和島市における重層的支援体制整備事業と 孤独・孤立対策プラットフォーム事業

本市のご紹介

人口 70,337人 (うち65歳以上28,333人)
高齢化率 40.3%
前年比 -1,386人 (うち65歳以上-297人)



2005年 (平成17年)
8月1日
北宇和郡吉田町
三間町
津島町
宇和島市が対等合併
(新設合併)
中山間地域と島しょ部が
混在する。



みんな大好き 鯛めし

重層事業に至る時系列

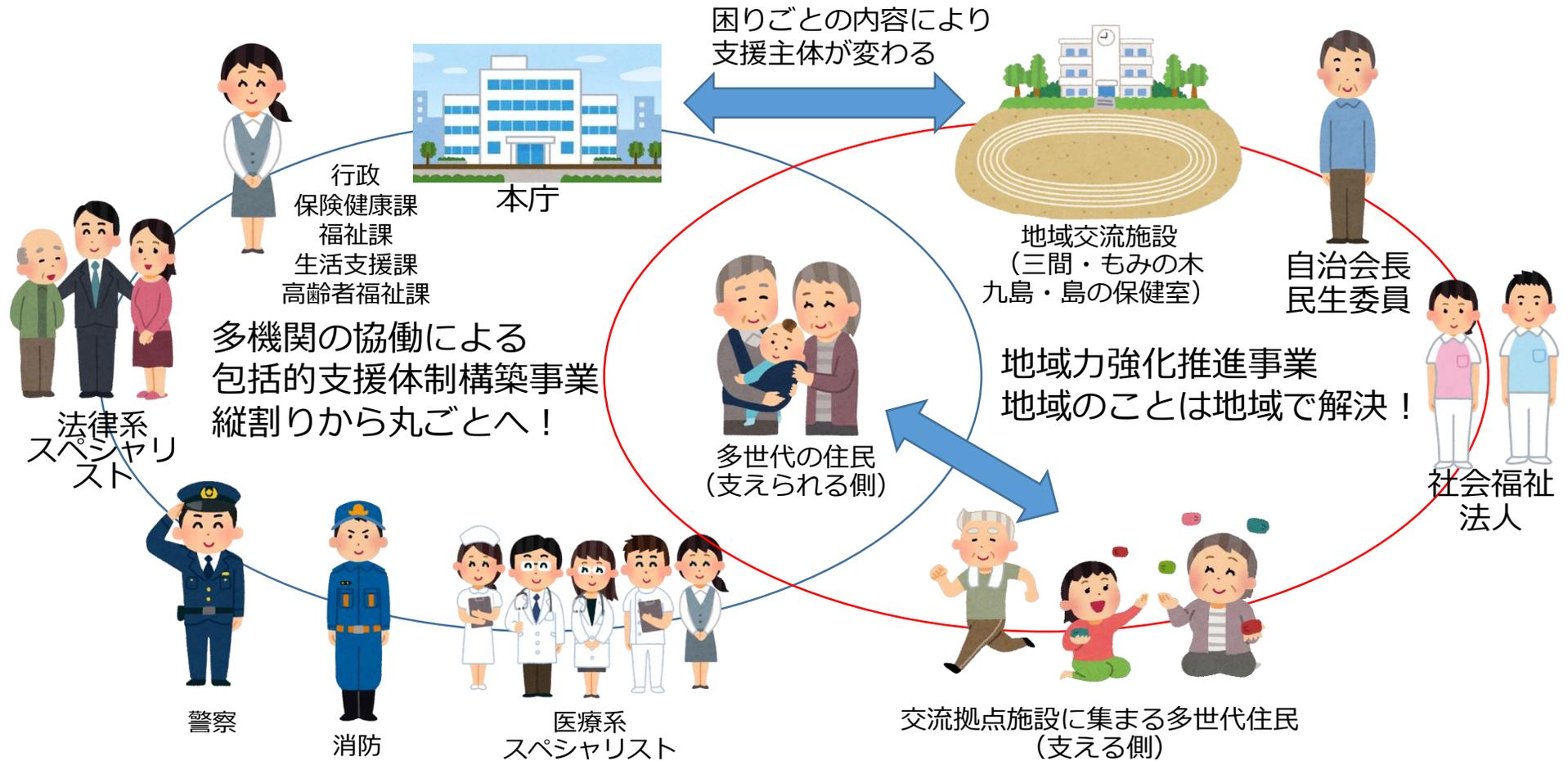
平成29年度 「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業を開始
(多機関協働・地域力を同時に開始)

平成30年度～令和2年度

地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業

令和3年度～4年度 重層的体制整備事業

「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業のイメージ





平成30年7月豪雨による被害状況

主な被害状況

人的被害 災害直接死 11人 災害関連死 1人 負傷 26人（宇和島市被災見舞金申出者数）

住家被害（非住家を含む） 【被害認定調査（1次）実施状況】

第1次調査実施済件数	交付申請件数	罹災証明書交付数
3,918	1,758	1,751

道路被害状況

地区	道路	河川	地区計
吉田	584 (584)	146 (146)	730 (730)
三間	23 (23)	0 (0)	23 (23)
津島	18 (18)	17 (17)	35 (35)
宇和島	19 (19)	23 (23)	42 (42)
合計	644 (644)	186 (186)	830 (830)

災害後の被災者支援のフェーズ

第1フェーズ 避難所から仮設住宅での生活（とりあえずの再建）に移行するためのアセスメント&プラン会議



第2フェーズ 仮設住宅から終の棲家を決めるため（本当の再建）の再度のアセスメント&プラン会議

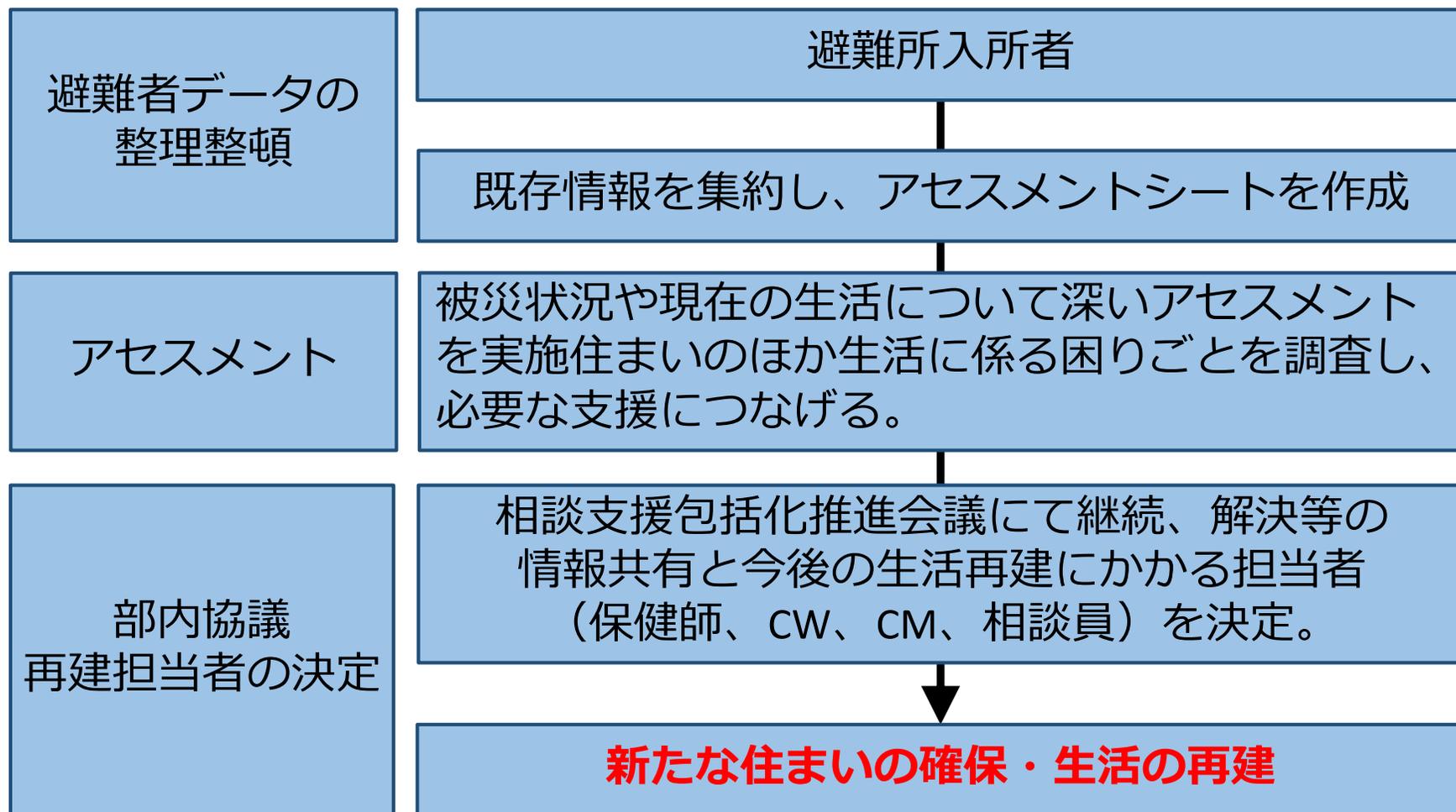


第3フェーズ 災害支援制度の期限を見据え、終の棲家の見つからない世帯を対象とした強化型アセスメント&プラン会議



第4フェーズ 終の棲家は確定したが、新たな生活圏域で独りぼっちになっていないか、頼れる人はいるのか、いないならば誰が支えるかを考え、作るためのアセスメント&プラン会議

アセスメントとプランのフロー



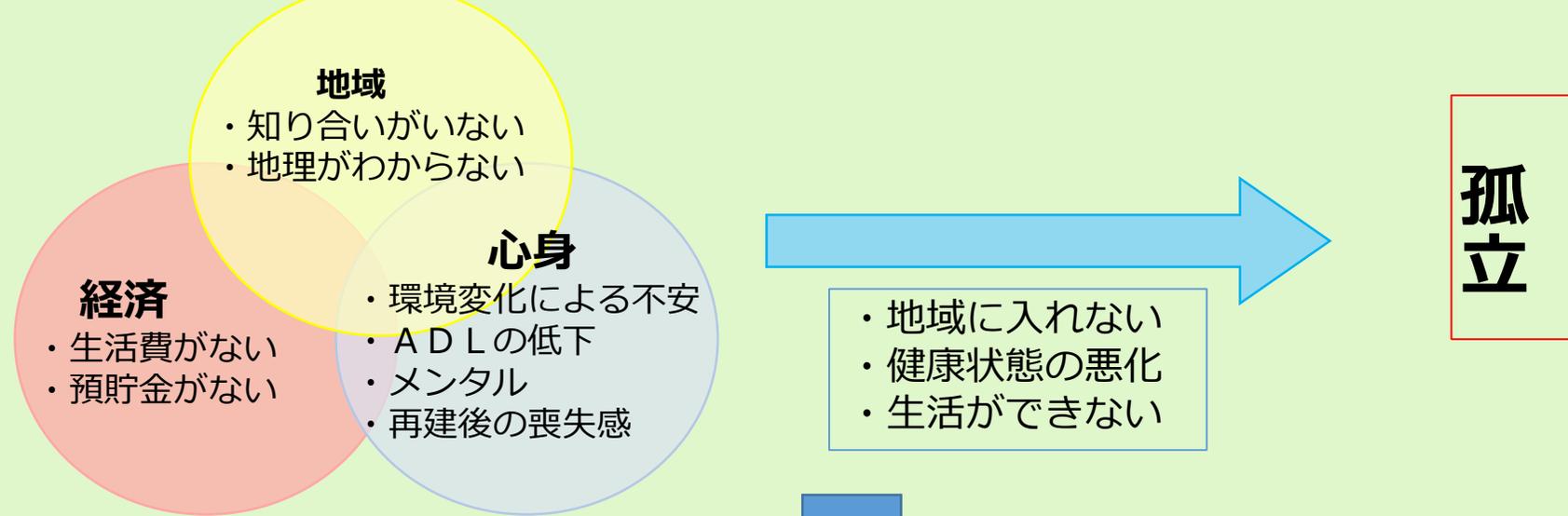
**ミッションとしては「いかに寄り添うか」、避難所を出ていただく事ではない！
「我が事・丸ごと」事業で職員が培った「受け止めの力」と「つなぐ力」を生かす**

被災者の生活再建に向けた体制（第4フェーズ）

「新生活再建支援プログラム（終の棲家の確定）」により、仮設住宅等から退去し、新たな生活を開始している被災者が出ている。

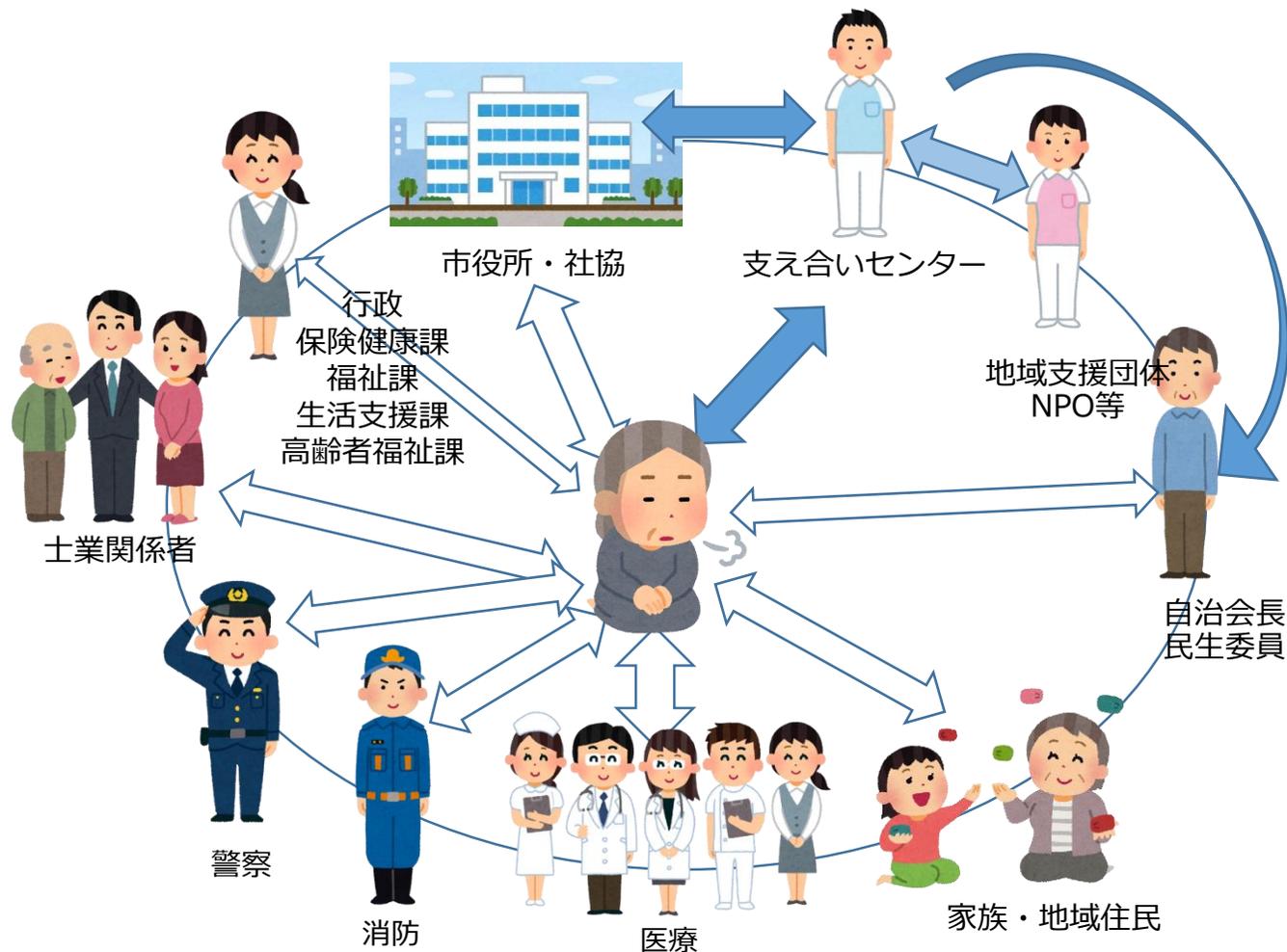
しかしながら、新たな生活拠点にて生活する中で、新たに問題を抱える被災者も出ており、再建後、安心して暮らせるように支援を行う。再建後、孤立リスクの高い被災者を中心に支援を実施し、地域とのつながりを支援し、安心して暮らせるまちを目指す

課題：3つの不安（地域、経済、心身）



目的：つながりを築き、再建後の孤立を防ぐ

地域つながり新生活見守り支援プログラム



被災者の新生活を支援

地域の紹介

被災者へ地域をつなぐ場、人、団体を紹介

地域見守り体制の支援

地域で活動する場、人、団体活動を支援

個の支援

地域の支援

新コミュニティへの加入、地域のつながり、地域の利便性の確保、場所づくり、人づくり、サポート（支える側へ）

平成29年度	我が事・丸ごとの地域づくり推進事業
平成30年度	地域共生社会の実現を目指した包括的支援体制整備事業
	平成30年豪雨災害
	地域住民による被災者支援・多職種による生活再建支援
令和元年度	新生活再建実務者会議
令和2年度	地域つながり新生活見守り支援プログラム
令和3年度	重層的支援体制整備事業

5年をかけて「包括的な支援」が意識出来るプレーヤーを庁内外で複数育成。
孤独孤立対策にあたっては、既存組織（重層事業）を利用した方が、効率的かつ
質の高い包括的支援が可能。

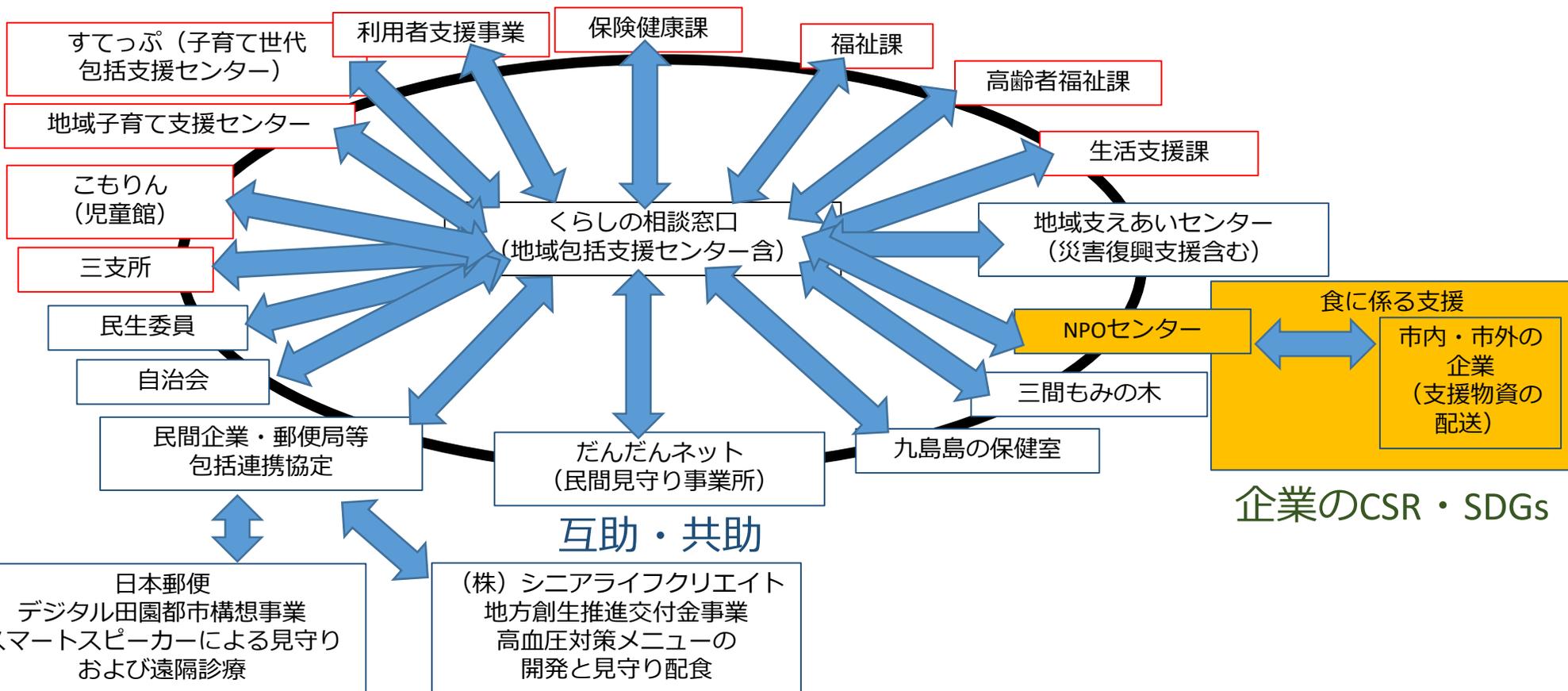
具体的なメリット

- ・「連携」についての教育が不要（座学も実践も経験済み）
- ・「世帯丸ごと」の意識付け（世帯全体孤立の実践経験あり）
- ・アウトリーチに係る経験値（入り方から信頼関係の構築まで）
- ・「本人の思い」を最優先するプランが可能
（フォーマルサービスにつなぐことのみが目的ではない）

重層的支援体制整備事業と地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業の併用イメージ



公 助



企業のサービス開発